

我が国には、世界に卓絶する工芸の伝統があります。伝統は、生きて流れているもので、永遠にかわらない本質をもちながら、一瞬もとどまることのないのが本来の姿であります。伝統工芸は、単に古いものを模倣し、従来の技法を墨守することではありません。伝統こそ工芸の基礎になるもので、これをしっかりと把握し、父祖から受けついで優れた技術を一層錬磨するとともに、今日の生活に即した新しいものを築き上げることが、我々に課せられた責務であると思います。昭和25年、文化財保護法が施行され、歴史上、若しくは芸術上特に価値の高い工芸技術を、国として保護育成することになりました。私どもは、その趣旨にそって、昭和29年以来陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門にわたり、各作家の作品を厳重鑑査し、入選作品によって日本伝統工芸展を開催してきました。

このたび、第72回展を開催し、広く人々の御清鑑を仰ぎ、我が国工芸技術の健全な発展に寄与しようとするものであります。重要無形文化財保持者、受賞作家、近畿在住作家の作品を中心に、入選作品320余点を一堂に展覧いたします。



日本工芸会総裁賞
がらすじゅうばこおりばな
硝子重箱「織花」
和泉 香織



高松宮記念賞
すずしきものまんようきたん
生絹着物「万葉綺譚」
神谷 あかね



東京都知事賞
もりかごすいか
盛籃「瑞花」
本田 青海



NHK会長賞
がらすかなぐ
烏うり金具
竹花 万貴



朝日新聞社賞
ちんきんそうがはんほうせきばこのぞみ
沈金象嵌宝石箱「希海」
水尻 清甫



日本工芸会会長賞
しよくさいはち
織彩鉢
早川 嘉



日本工芸会保持者賞
びぜんこんこうはくでいかき
備前混淆白泥花器
隠崎 隆一



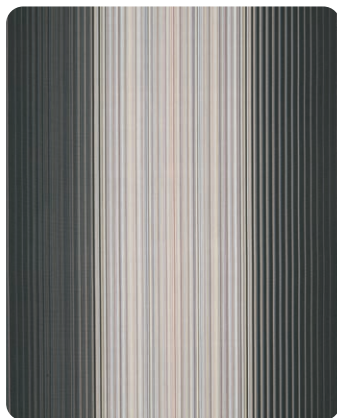
日本工芸会奨励賞
もくはんずりさらさきものゆうけい
木版摺更紗着物「遊景」
鈴田 清人



日本工芸会奨励賞
かんしつろくべんりんかもりき
乾漆六弁輪花盛器
伴野 崇



日本工芸会奨励賞
けやきふきうるしもりきしゅうこう
櫛拭漆盛器「舟行」
川口 清三



日本工芸会新人賞
こくらおりおびよいあかつき
小倉織帯「宵暁」
内山 啓大



日本工芸会新人賞
かんしつきんまばこかこう
乾漆蒔轆轤箱「花光」
鈴木 元子

お問い合わせ先

日本伝統工芸展京都展 実行委員会事務局
(京都府教育庁指導部文化財保護課)
〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
TEL. 075-414-5905

公益社団法人 日本工芸会近畿支部

〒604-8183 京都市中京区高倉通三条上 京都府京都文化博物館内
TEL. 075-252-5205 <https://nihonkogeikaikinki.jp/>

